

JAMCA 自動車整備士養成分野における第三者評価基準一覧表(H27実証実験資料)

I 自己点検評価に対する評価 (機関評価に相当・部分的に分野別に関連)				
NO.	大項目	中項目	小項目(主な内容)	評価内容
1	教育理念・目的・育成人材像	教育理念・目的・育成人材像	理念・目的・育成人材像は定められているか。	文科省および私立学校等評価研究機構等の自己点検評価項目に基づく各校の自己評価について、評価内容およびそのエビデンスについて第三者として客観的に評価を行う。 (機関評価に相当・部分的に分野別に関連) 各校ごとに独自のフォーマットで実施されている自己点検評価について、基本的にはそのフォームを踏襲し、自己評価のエビデンスを加えて、評価報告書を提出していただき、それを第三者として評価する。 ※大項目ごとに「良・否」の判定と「評価する点・改善を期待する点」について記述し評価を行う。 ※大項目毎の評価のポイントは別紙「資料2」に基づいて実施する。
2	学校運営	運営方針	理念等に沿った運営方針を定めているか。	
		事業計画	理念等を達成するための事業計画を定めているか。	
		運営組織	設置法人は組織運営を適切に行っているか。	
		人事・給与制度	人事・給与に関する制度を整備しているか。	
		意思決定システム	意思決定システムを整備しているか。	
		情報システム	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか。	
3	教育活動	目標の設定	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	
		教育方法・評価等	教育目的、目標に沿った教育課程を編成しているか。	
		成績評価・単位認定等	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	
		資格・免許の取得の指導体制	目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置付けているか。	
		教員・教員組織	資格・要件を備えた教員を確保しているか。	
4	学修成果	就職率	就職率の向上が図られているか。	
		資格・免許の取得率	資格・免許取得率の向上が図られているか。	
		卒業生の社会的評価	卒業生の社会的評価を把握しているか。	
5	学生支援	就職等進路	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	
		中途退学への対応	退学率の低減が図られているか。	
		学生相談	学生相談に対する体制を整備しているか。	
		学生生活	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか。	
		保護者との連携	保護者との連携体制を構築しているか。	
		卒業生・社会人	卒業生への支援体制を構築しているか。	
6	教育環境	施設・設備等	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか。	
		学外実習等	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	
		防災・安全管理	防災に関する組織体制を整備し、適切に運用しているか。	
7	学生の募集と受け入れ	学生募集活動	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか。	
		入学選考	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。	
		学納金	経費内容に対応し、学納金を算定しているか。	
8	財務	財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか。	
		予算・収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか。	
		監査	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を行っているか。	
		財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか。	
9	法令等の順守	関係法令・設置基準等の順守	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。	
		職業実践専門課程認定要件	職業実践専門課程の認定要件を満たし、適正な教育運営を行っているか。	
		個人情報保護	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。	
		学校評価	自己点検評価、学校関係者評価を適切に行っているか。	
		教育情報の公開	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか。	
10	社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献	学校の教育資源を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか。	
		ボランティア活動	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。	
11	国際交流 (必要に応じて)			

Ⅱ 職業実践専門課程認定要件適合評価				
	教育課程編成委員会の委員構成、開催回数、教育課程の編成内容			左記項目に対し、資料等で実施状況を確認し評価する。
	企業等と連携した実習・演習等の実施			
	企業等と連携した組織的な教員研修の実施			
	企業等と連携した学校関係者評価の実施・公表			
	ホームページにおける情報提供			
Ⅲ 国土交通省自動車整備士一種養成施設指定基準に基づく評価(分野別機関評価に相当)				
NO.	大項目	中項目	小項目(主な内容)	評価内容
1	教育理念・目的・育成人材像	教育理念・目標・人材育成	道路運送車両法 第1条	法律の目的
2	学校運営	運営方針	1. 養成施設の沿革及び学校の組織図	われわれ学校群の教育は自動車整備士として自動車業界に活躍する高度な技術者の育成である。国土交通省はそれを踏まえ、社会で要求されている自動車整備技術者の水準を卒業(修了)時の目標として、教材や教室・実習場等の教育環境や主な教育項目とその教育時間、教育する教員の資格など教育プログラム全体の質を確保するため指定基準を定めている。約3年ごとの定期的な監査の受診により、そのレベルに満たない場合は教育施設として取り消しを受けることになる法的な質保証がされている評価と言える。JABEEの「日本技術者教育認定基準」に相当するものと考えている。受審校の定期監査実施報告の確認により、自動車整備分野の基準の達成を確認できるものである。*整備士の人材教育に向け基準を満たしていることのエビデンスを資料で提示。 ●定期監査報告書 ●実績報告 ●変更届 等
		始業計画	(2)組織図は当該施設の運営状況が確認できるものとする。	
		運営組織	2. 学則又は規則及び催促	
		人事・給与制度	(3)課程の名称	
		意志決定システム	(4)定員	
		情報システム	(5)修業の年限又は入学時期及び卒業時期並びに昼間、夜間の別	
			(6)入学資格	
			(7)休日及び休業	
			(8)始業、終業時間及び1教育単位時間	
			(9)当該課程修了の教育時間(高校の場合は単位)	
		(10)成績判定基準(出席日数及び合格点等)		
3	教育活動	目標の設定	6. 教育科目別時間配分表	
		教育方法・評価等	I-2-2 教育計画(二級)	
			I-3-2 教育計画(一級)	
		成績評価・単位認定等	7. 教育計画表	
		資格・免許の取得の指導体制	2. 学則又は規則及び細則	
			(9)当該課程修了の教育時間(高校の場合は単位)	
			(10)成績判定基準(出席日数及び合格点等)	
		教員・教員組織	4. 教育を行う者(指導員)の一覧表	
	(3)資格欄は指導員資格を満足させるものであること			
		5. 教育を行う者(指導員)の名簿		
4	学修成果	就職率	養成施設の報告書	
		資格・免許の取得率		
6	教育環境	施設・設備等	必要設備等一覧表	
9	法令等の遵守	関係法令・設置基準等の遵守	道路運送車両法	
Ⅳ 自動車整備士分野の教育の質保証・特徴化に向けた取り組み内容の評価(分野別評価に相当)				
NO.	大項目	中項目	小項目(主な内容)	評価内容
3	教育活動	教員の専門性向上、教育力向上に向けた特徴ある取り組みや成果		一般的な学校全体の運営や教育活動等に関わる評価項目に加え、卒業生が自動車整備士として自動車業界で活躍し社会に貢献できる実践的な職業教育を行っていることのエビデンスおよびその教育の特徴や工夫について評価の基準とし、その内容について第三者評価を行う。職業教育における「内部質保証および成果向上」の取り組みについてその価値を評価するものとなる。
		教育の質保証、質向上に向けた教育内容やシステムにおける特徴ある取り組みや成果		
4	学修成果	国家資格の合格に向けた特徴ある取り組みや成果		
		就職率、就職の質向上に向けた特徴ある取り組みや成果		
		その他学校としての特筆すべき特徴ある取り組みや成果		

柔道整復師養成分野 第三者評価基準一覧(素案Ver.2.0)

1/2

柔道整復師養成分野第三者評価基準の評価項目			評価の観点				
大項目	中項目	小項目 (評価の視点)	目標	基準	専門	質	成果
教育理念・目的・育人人材像	理念・目的・育人人材像	理念・目的・育人人材像は定められているか		○			
		育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか			○		
		社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか			○		
学校運営	運営方針・事業計画	理念等を達成するための運営方針と事業計画を定めているか		○			
	運営組織	学校運営組織を適切に整備しているか		○			
		人事・給与に関する制度を整備しているか		○			
	特色ある取組	学校運営について、特色ある取組を行っているか	○			○	
教育活動	目標の設定	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか		○			
		修業年限3年で柔道整復師国家試験を合格できるように目標設定されているか	○		○		
		業界等の人材ニーズに対応した特色ある達成目標を設定しているか (別記例示参照)	○				○
	教育方法・評価等	柔道整復師国家試験受験に必要な教育課程を編成しているか	○		○		
		教育課程編成委員会を設置し、外部の意見を教育課程に反映しているか			○		
		キャリア教育を実施しているか			○		
		柔道整復師としての社会的責任を果たすうえで卒業後も継続した学習が必須であることを認識するための教育を行っているか (別記例示参照)	○				○
		授業評価を実施しているか		○			
		教育方法について、特色ある取組を行っているか	○				○
	成績評価・単位認定等	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか			○		
		学修成果発表会等で達成度を把握しているか			○		
	免許・資格取得の指導体制	柔道整復師国家試験及び認定実技審査のための指導体制はあるか	○		○		
		その他の資格取得について、特色ある取組を行っているか	○				○
教員・教員組織	資格・要件を備えた教員を確保しているか		○				
	企業等と連携し、教員の資質向上への取組を行っているか			○	○		
	教員組織について、特色ある取組を行っているか	○				○	
学修成果	免許・資格の取得率	免許・資格取得率の向上が図られているか		○			○
		認定実技審査の合格実績は高い水準にあるか			○		○
		柔道整復師国家試験の合格率は高い水準にあるか			○		○
	就職率	就職率の向上が図られているか		○			○
		就職の実績は高い水準にあるか			○		○
卒業生社会的評価	社会的評価を受けた卒業生の活躍実績があるか			○		○	
	特色ある取組	学修成果の把握について、特色ある取組を行っているか	○				○
学生支援	学生生活	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか		○			
		学生の健康管理を行う体制を整備しているか		○			
		学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか		○			
		課外活動に対する支援体制を整備しているか		○			
	学生相談	学生相談に関する体制を整備しているか		○			
	中途退学への対応	退学率の低減が図られているか		○			○
		退学率は低い水準にあるか			○		○
	保護者との連携	保護者との連携体制を構築しているか		○			
卒業生・社会人	卒業生への支援体制を整備しているか			○			
	産学連携による卒後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか			○			
	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか			○			
	特色ある取組	学生支援について、特色ある取組を行っているか	○				○
教育環境	施設・設備等	施設・設備は専修学校設置基準及び柔道整復師学校養成施設指定規則に定める基準に基づき適切に整備されているか		○	○		
	実習・演習・インターンシップ等	企業と連携して、実習・演習、インターンシップ等の実施体制を整備しているか			○		
		防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか		○			
	防災・安全管理	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか		○			
	特色ある取組	教育環境の整備について、特色ある取組を行っているか	○				○

柔道整復師養成分野第三者評価基準の評価項目			評価の観点				
大項目	中項目	小項目 (評価の視点)	目標	基準	専門	質	成果
学生の募集と受入れ	学生募集活動	学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか		○			
	入学選考	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか		○			
		入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか		○			
	学納金	経費内容に対応し、学納金を算定しているか		○			
入学辞退者に対し授業料等について適正な取り扱いを行っているか			○				
特色ある取組	学生の募集と受入れについて、特色ある取組を行っているか		○			○	
財務	財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか		○			
		学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか		○			
	予算・収支計画	予算及び執行計画に基づき適正に執行管理を行っているか		○			
	監査・財務情報の公開	私立学校法及び寄附行為に基づき適切に監査を実施し、財務情報を公開しているか		○			
特色ある取組	財務運営について、特色ある取組を行っているか		○			○	
内部質保証	関係法令、設置基準等の遵守	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか		○		○	
		職業実践専門課程の認定要件を満たし、適正な教育運営を行っているか			○	○	
	学校評価	自己評価の実施体制を整備し、評価を行い、結果を公表しているか		○		○	
		学校関係者評価の実施体制を整備し、評価を行い、結果を公表しているか		○		○	
		学校評価結果を改善に繋げるシステムを確立しているか		○		○	
学校評価に基づく改善活動は成果を上げているか				○	○		
教育情報の公開	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか		○		○		
社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献	学校の教育資源を活用した社会貢献、地域貢献等を行っているか			○		
	ボランティア活動	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか			○		
	特色ある取組	社会貢献・地域貢献について、特色ある取組を行っているか	○				○
教育目標として設定した専門技術 (例示)	1 柔道整復術:骨折の整復技術・脱臼の整復技術・軟部組織損傷の初期措置法などの習得	2 被覆包帯及び固定包帯術:巻軸包帯での被覆包帯が緩まない包帯・腫脹に対応できる包帯の技術習得・固定包帯は骨折等の整復位をいかに保持するかの研究および技術の習得	○				○
		3 テーピング技術:患部の運動制限・疼痛緩和・血行促進などの研究および技術の習得	○				○
		4 後療法:手技療法 軽擦法・強擦法・叩打法などを用いて自然治癒力を活性化させ損傷の早期回復を図る技術の習得。運動療法 全身運動療法と局所運動療法を併用し機能回復と増進を図る技術の習得。物理療法 電気・光・温熱・冷却・音波などの物理的エネルギーを使用して、生体機能の正常化および恒常性維持機能を高める研究および技術の習得	○				○
		5 鑑別技術(ボディナビゲーション体表解剖を含む):外見上の症状では判断できない症状を各種検査法で鑑別する技術の習得。臨床実習にて治療方針を決め、治療し、評価する技術の習得。	○				○
		6 医療面接:信頼関係の構築の仕方、主訴、現病歴の確認など	○				○
		7 リスク管理:フォルクマン拘縮などの後遺症へのリスク管理。整復・固定・後療法・自己管理などに対する指導管理	○				○
		生涯学習の意欲醸成に関する評価項目 (例示)	1 生涯学習の重要性を現場で活躍する柔道整復師などから聞く機会を設けているか	○			
	2 卒後研修等の生涯学習プログラムに在学中から参加する機会を提供しているか		○				○
	3 「卒後臨床研修制度」をはじめとする生涯学習に対する意欲を醸成するための教育を体系的に行うよう努めているか		○				○

【評価の観点の説明】

目標	自己目標として、学生の学修成果を中心とした目的・目標を設定しているか
基準	専修学校設置基準、柔道整復師学校養成施設指定規則に定める基準及び専門学校に必要とされる基本的な事項を満たしているか
専門	職業実践専門課程の認定要件及び専門分野に必要とされる基本的な事項を満たしているか
質	内部質保証への取組や手続きが整備され機能しているか
成果	認定課程が目的・目標として設定している学修成果等が達成できているか

【評価区分の色区分別説明】

Should	専門特化した基準・専門技術(A) (質的向上のための基準)
Must	〃 ・専門技術(B) (基本的基準となる項目)
Must	共通する基準-2 (専門性も含む基準)
Must	共通する基準-1 (基本的基準となる項目。評価研究機構の基準と同一基準)